

第5回指宿枕崎線（指宿・枕崎間）
の将来のあり方に関する検討会議

会 次 第

日時：令和8年2月10日（火）10:30～

場所：ホテルウェルビュー鹿児島 桜島

1 開 会

2 挨 拶

指宿枕崎線（指宿・枕崎間）の将来のあり方に関する検討会議
会長（鹿児島県総合政策部参事兼交通政策課長）

3 議 題

- ・実証事業の進捗状況について
- ・検討調査事業の進捗状況について

4 意見交換

5 そ の 他

6 閉 会

第5回 指宿枕崎線（指宿・枕崎間）の将来のあり方に関する検討会議 出席者名簿

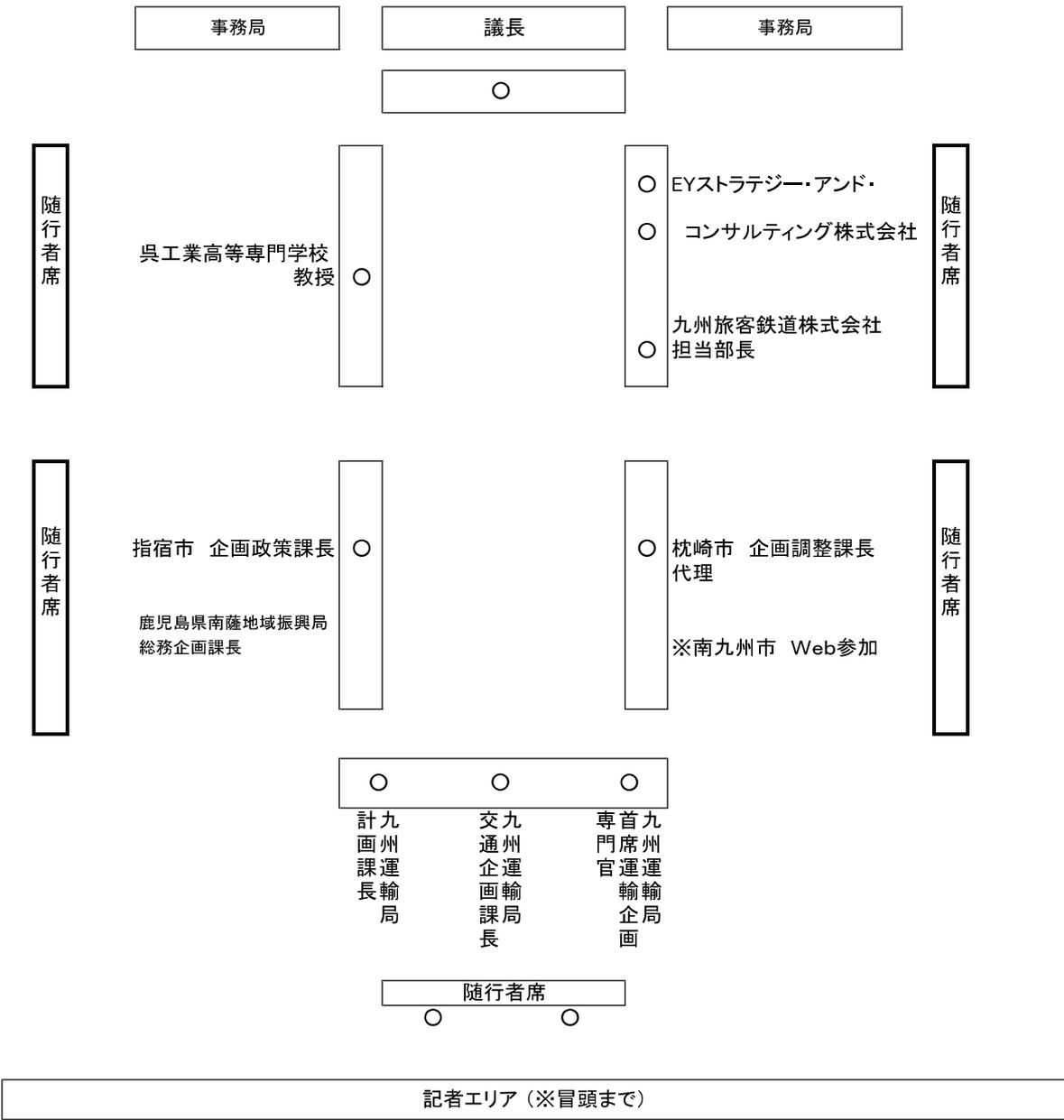
	団体名	職名	氏名	備考
1	鹿児島県総合政策部交通政策課	参事兼 交通政策課長	鈴木 圭祐	
2	鹿児島県南薩地域振興局 総務企画部総務企画課	総務企画課長	上脇 紀明	
3	指宿市総務部企画政策課	企画政策課長	東 忠孝	
4	南九州市企画課	企画課長	葛 迫 亮	Web参加
5	枕崎市企画調整課	主幹兼係長	山神 修一	課長代理
6	九州旅客鉄道株式会社 総合企画本部地域戦略部	担当部長	中島 剛志	
7	呉工業高等専門学校 環境都市工学分野	教 授	神田 佑亮	

オブザーバー

1	国土交通省九州運輸局 交通政策部交通企画課	交通企画課長	小堀 まろり	
2	国土交通省九州運輸局 鉄道部計画課	計画課長	井料 達己	
3	国土交通省九州運輸局 鹿児島運輸支局	首席運輸企画専門官 (企画調整担当)	谷 口 誠 一	

第5回指宿枕崎線(指宿・枕崎間)の将来のあり方に関する検討会議 配席図

スクリーン



「指宿枕崎線（指宿・枕崎間）の将来のあり方に関する検討会議」における実証事業の概要

1 貨客混載実証事業

【施策の概要】

- ・ 指宿枕崎線の定期列車を活用し、地元商品の輸送・販売を行うための貨客混載実証事業を実施する
- ・ 指宿駅から喜入駅のコミュニティスペース「ゆなべす喜入」へ商品輸送を実施する
- ・ 商品発送状況を荷主、発送先等に共有するシステムを構築し、円滑な貨客混載実証輸送を支援する

【施策の狙い】

- ・ 地元事業者の販路拡大・収益獲得、地域産品の輸送コスト削減につなげる
- ・ 鉄道事業者の収益機会の拡大につなげる
- ・ 地域産品の魅力発信を通じた、地域のファン層拡大・関係人口の増加につなげる
- ・ 成功体験を通じた、地域全体で取組む意識醸成、ビジネス意欲の喚起につなげる

【実施時期】

- ・ 2026年1月 …… 荷主による駅持ち込み、オペレーション確認、模擬輸送試験の実施、検証（関係者立会）
- ・ 2026年2月18日 …… 本格実証輸送開始



実施の様子



指宿駅で荷物を積載



列車で喜入駅まで輸送



喜入駅で取り降ろし

現地事業者の感想・課題

- ・指宿駅に荷物を持っていくだけで済むのはありがたい
- ・列車で朝市の商品を運んでいた時代を現代に復活させるようなイメージを描いている
- ・ゆなべーす喜入で産品を食べることで、指宿に行くきっかけになればよい
- ・指宿以南の列車でも実施し、対象事業者を増やしたい

「指宿枕崎線（指宿・枕崎間）の将来のあり方に関する検討会議」における実証事業の概要

2 サイクルトレイン実証事業

【施策の概要】

- 指宿～枕崎間で、自転車ツーリズム等に利用できるサイクルトレイン（臨時列車）を運行する
- 指宿枕崎線の列車への自転車が持ち込めるように、自転車の受入環境を整備する
- 国内外からサイクリストを呼び込めるモデルコースを設定し、事前に申し込みされたモニターの方のみを対象としたツアーを実施する

【施策の狙い】

- 自転車ツーリズムの需要喚起につなげる
- 海岸沿いの観光地を含む広域周遊観光に鉄道を組合せ、相乗効果をねらう
- 既存交通モード以外の新たな移動の選択肢の提供による、住みやすいまちづくり、学生の地域内鉄道利用の定着、生産年齢人口の機会損失の軽減及び観光客の利便性向上を図り、関係人口を創出する

【実施日】

- 2026年1月31日（土）、2月1日（日）



実施の様子 ※1/31, 2/1の二日間で50名以上のモニターが参加



参加者の感想・課題

- ・自転車を積んで降りたところで走り回れるのは楽しみ
- ・友達と一緒に、自転車を列車に積み込んで移動するのはとても楽しかった。
- ・普段通らないような道を走行できたのが良かった
- ・列車からの乗降はスムーズであった。
- ・固定バンドは使いやすく、しっかりバイクが固定されていた
- ・自転車の固定場所、固定方法に不安あり
- ・学生の通学などで使えたら便利なのは
- ・自転車を載せる場所を決めておいた方が車内を広く使えるのでは
- ・駅での待ち時間に、自転車を立てかけられる設備がほしい

「指宿枕崎線（指宿・枕崎間）の将来のあり方に関する検討会議」における実証事業の概要

3 SNS等による地域の情報発信

【施策の概要】

- 指宿枕崎線（指宿・枕崎間）の沿線地域にある観光施設や店舗等について、Googleビジネスプロフィールへの新規登録や情報更新を推進する
- 日本最南端のJR路線というキラコンテンツを活かした旅行・鉄道系Youtuberとのコラボ企画等を実施する

【施策の狙い】

- 地図アプリへの地域資源の登録により、不特定多数の人に対して地域資源をアピールすることで、「ここも立ち寄る」といったポイントの増加を目指す
- 日本最南端のJR路線というSNS映えするコンテンツを武器にした売込みにより、影響力のあるインフルエンサーとのコラボ企画を実現し、従来にはない観光客層を開拓する
- 若者向けの広告強化により、従来とは異なる層の観光客を呼び込む

【実施時期（予定含む）】

- 2026年1月 …… サイクルトレイン関連ホームページ開設
- 2026年3月 …… Youtuberとのコラボ動画公開
- 随 時 …… 地元飲食店等のGoogleビジネスプロフィールへの新規登録や情報更新を推進

ホームページ（1月16日公開開始）

指宿枕崎線 サイクルトレイン

2days実証運行



You Tuber（1月31日、2月1日撮影実施）



東京走著瞧 (@tokyogogolook)

- 台湾出身で日本在住のインフルエンサー
- YouTubeフォロワー数151,000人、Instagramフォロワー数44,000人
- 台湾現地の有名メディア「東森新聞」「Ettoday」「Yahoo! 台湾」などで紹介されるほど人気。
- 台湾の視聴者にもわかりやすくユーモアのある説明と、ハイクオリティな映像で情報を発信。
- APAHotel、ROHTOなどの民間企業及び山形県、新潟県、福島県などの自治体で実績多数。

「指宿枕崎線（指宿・枕崎間）の将来のあり方に関する検討会議」における実証事業の概要

4 駅のにぎわいづくり事業（※JR九州のekinicoを活用）

【施策の概要】

- 西穎娃駅の駅舎等を活用したにぎわいづくり（シンボル駅づくり）を実施する
- 地域内外から人を集め、駅舎での地元物産品販売、イベント開催、待合室でのセレクトショップ開店等によって、にぎわいを創出する

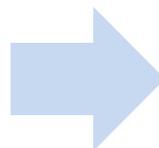
【施策の狙い】

- 来訪者の周遊観光需要を喚起し、地域産品の需要増加につなげる
- 当事者意識の喚起や、地域ビジネスに関する意欲を高めてもらう場や機会の創出につなげる
- 駅舎や駅舎周辺スペースの一部を活用し、駅を中心とした地域活動を活発化させ、地域のにぎわいを創出する
- 「他の目的で結果的に駅に来た」人を取り込み、駅を様々な目的に対応した場所とすることで、関係人口の増加（ひいては鉄道利用増加）につなげる

【実施時期】

- 2026年2月 …… テーブル・イス・Wi-Fi・デジタルサイネージの設置開始
- 2026年2月15日(日) …… 駅弁販売イベント
- 2026年3月6日(金), 7日(土) …… 立ち飲みイベント
- 2026年3月7日(土) …… 県立穎娃高等学校生徒により野菜の無人販売
- 2026年3月7日(土), 8日(日) …… 駅窓口臨時営業（通常の営業時間は平日7時～9時, 16時～19時30分のみ）

これまでの西穎娃駅待合室



イベント実施時のにぎわいイメージ

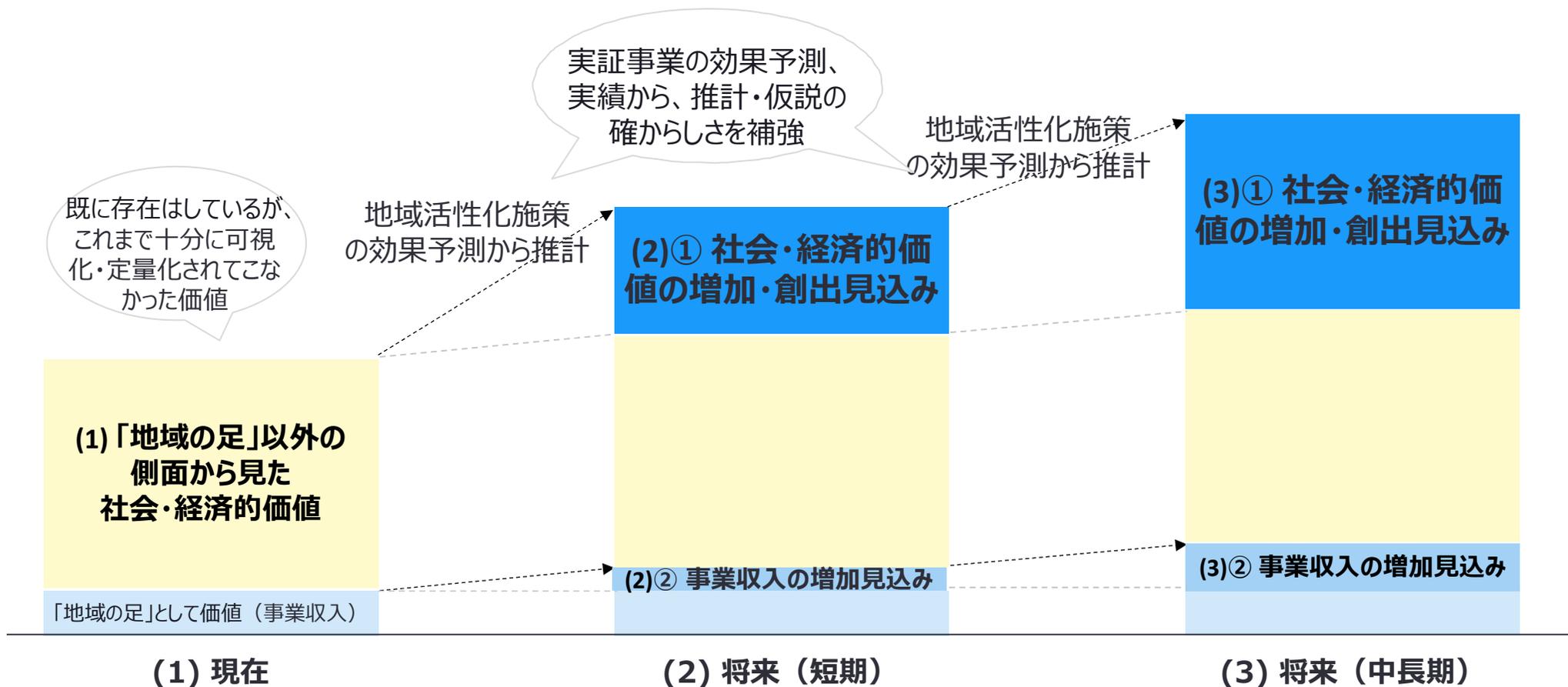


指宿枕崎線が有する社会・経済的価値の可視化・定量化の全体像

指宿枕崎線が有する社会・経済的価値について、下記を対象として推計する

- (1) 「地域の足」以外の側面から見た社会・経済的価値も含めた、「現在の価値」
- (2) 地域活性化施策の実施によって増加・創出が見込まれる、「将来(短期)の価値」
- (3) 地域活性化施策の実施によって増加・創出が見込まれる、「将来(中長期)の価値」

イメージ図



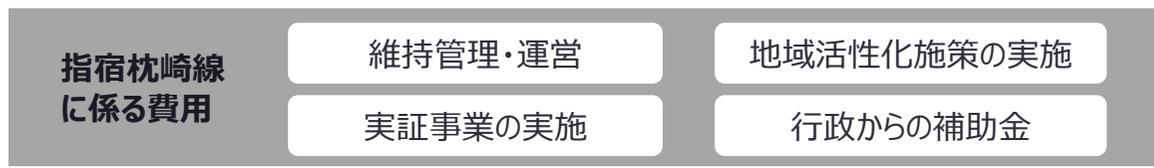
指宿枕崎線が有する社会・経済的価値の可視化・定量化の体系整理

指宿枕崎線が有する社会・経済的価値について、分野・性質ごとに洗い出しと個別具体化を行ったうえ、**帰属先となる受益者を明確化**し、それぞれの受益について試算（定量化）を行う

分野・性質		受益者						
		商店	集客施設	交通事業者	事業者(〇〇業)	利用者本人	利用者家族	行政,住民
まちづくり、交通	存在価値		受益			受益	受益	受益
	広告効果		受益	受益	受益			
	拠点効果	受益	受益		受益			
	触媒効果			受益				
観光振興		受益						
産業	⋮			受益				
医療・福祉	⋮					受益	受益	
子育て・教育	⋮					受益	受益	
その他	⋮				受益			
		受益計	受益計	受益計	受益計	受益計	受益計	
指宿枕崎線が有する社会・経済的価値 合計								

重複のないよう体系的に整理

価値と費用を比較検討

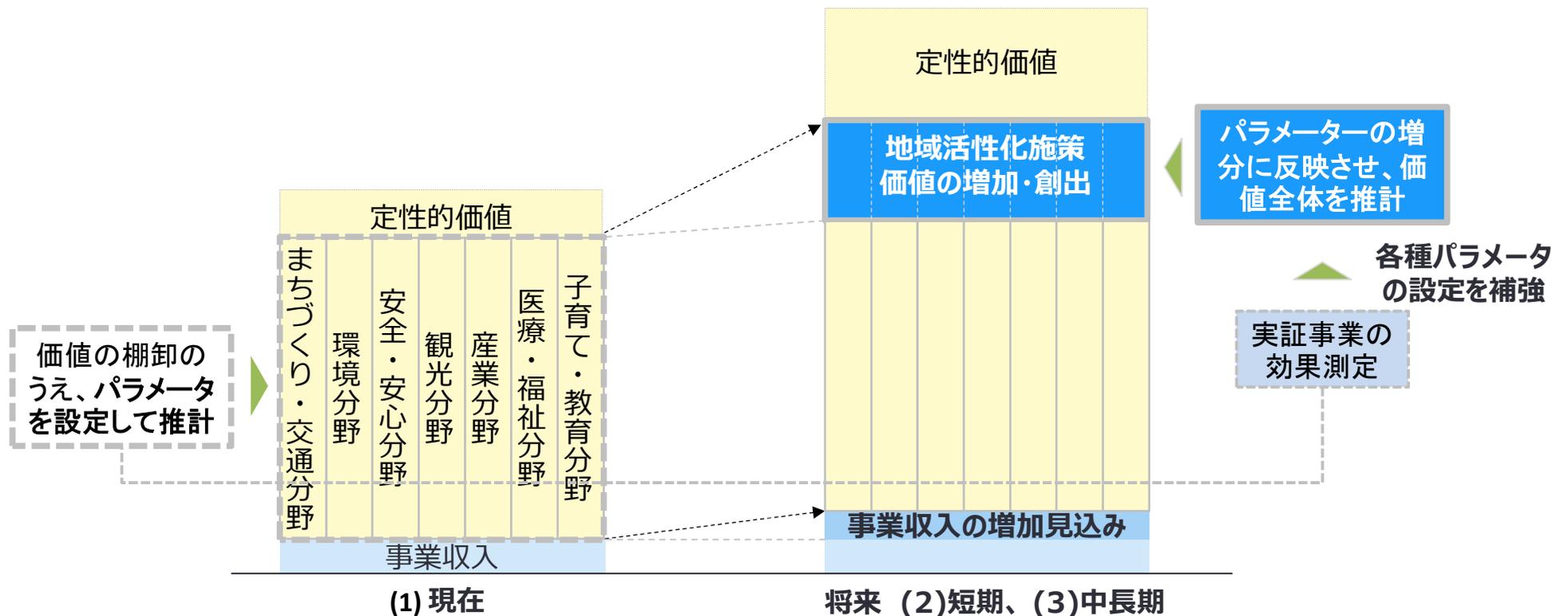


指宿枕崎線が有する社会・経済的価値の推計ステップ

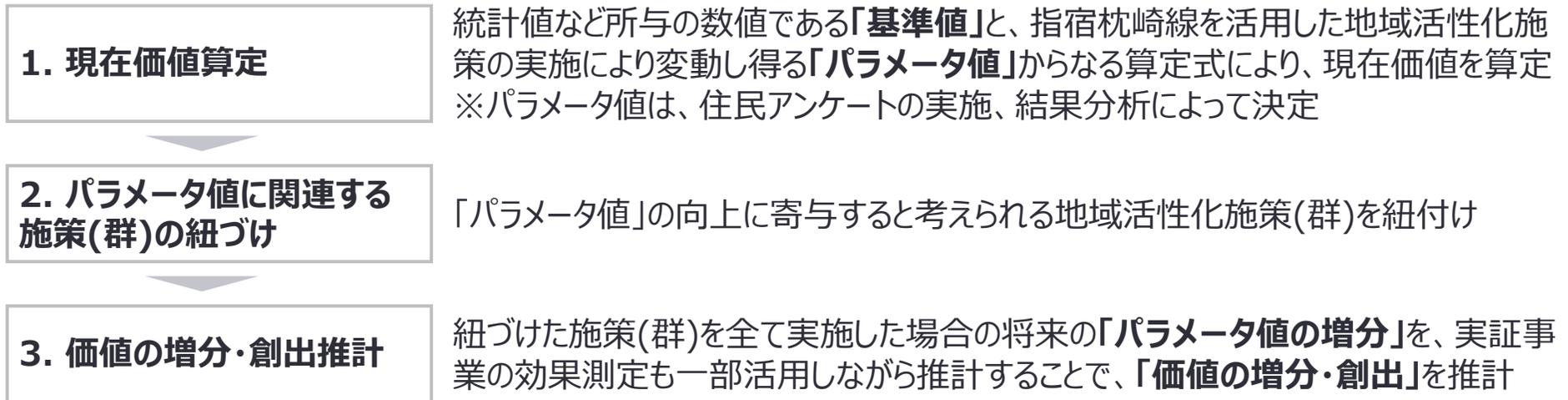
- (1)現在の社会・経済的価値は、**分野ごとに受益を洗い出し**、それらの推計を行う
(2),(3)将来に増加・創出が見込まれる価値については、**地域活性化施策を実施した場合に増加・創出が見込まれる価値**についての推計を行う。

その際には、実証事業の効果測定も行い、その結果を補強材料としながら推計に用いる各種係数を設定する

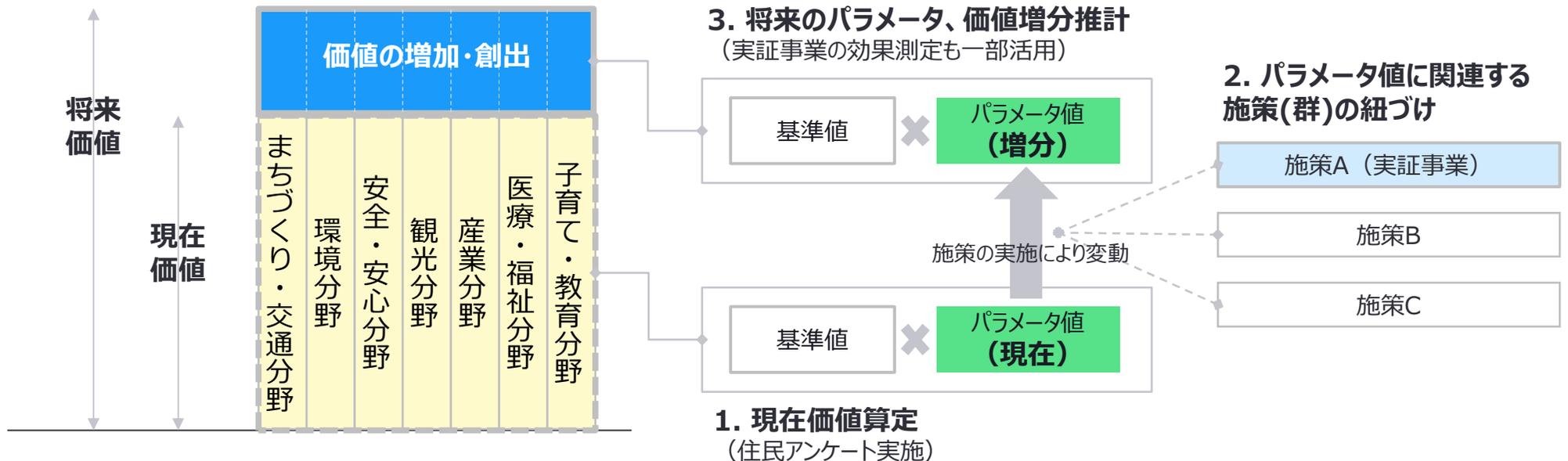
イメージ図



指宿枕崎線が有する社会・経済的価値の推計ステップ



イメージ図



指宿枕崎線が有する社会・経済的価値の可視化・定量化の推計例

■ 金銭価値化の試算手法

～例：指宿枕崎線（指宿・枕崎間）の存在により定住意欲が向上している住民による消費活動～

価値の内容 指宿枕崎線（指宿・枕崎間）が存在することで、マイカーと組み合わせた移動や、マイカーを使わない移動といった移動の選択肢が生まれ、移動の利便性が向上する。その結果、住民の生活満足度も向上し地域での定住に繋がることで、**住民による消費活動という金銭価値を創出**している

【推計例】

流出防止人口による
年間消費支出

● 千円/年

=

指宿市・南九州市・枕崎市
の19歳以上人口

● 人

×

鉄道の存在が、定住意欲の
向上に寄与している人の割合

● %

×

1人当たり
年間消費支出

● 千円/人・年

↑
アンケート結果を活用して算出



住民アンケート

Q. 指宿枕崎線（指宿・枕崎間）がなかった場合、今後も現在の地域に住み続けたいと思いますか。

- ・ 住み続けたいと思わない
- ・ 住み続けたいとあまり思わない
- ・ どちらともいえない
- ・ 鉄道がなくても住み続けたい